

生産性向上支援訓練カリキュラム

B. 組織マネジメント	ムリ・ムダ・ムラを洗い出し、生産性向上を高めよう！
組織力強化	成果を上げる業務改善

コースのねらい	生産性向上に資する業務改善の目的と必要性を理解し、改善の視点と具体的な進め方を習得する。
----------------	--

対象	(中堅層向け) ・業務上の問題点(ムリ・ムダ・ムラ)を把握したい方 ・業務改善に取り組みたい方
-----------	---

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間(H)
講義内容	1 業務改善と業務の可視化	(1) 業務改善の必要性 業務改善の目的とは何か、なぜ業務改善が必要なのかを理解する。 (2) 現状分析と課題の明確化 仕事の「あるべき姿」を考えることの重要性和、そのあるべき姿との「ギャップ」が課題となることで、やるべきことが明確になり、目標を決めてゆくことができる。 (3) 真因の追究【演習あり】 再発防止のためには真因(真の原因)を掴むことの重要性和、真因を洗い出す「なぜなぜ分析」手法を理解、実践してみる。 (4) PDCAをまわす【演習あり】 目標を設定し、真因を掴み、対策を立案、実行し、結果をチェック、標準化を行い、次のアクションに繋ぐPDCAを理解する。 (5) 業務の可視化の重要性 業務の「見える化」について、事例を交えながら紹介する。	3.0
	2 業務改善手法	(1) ボトルネック工程の見つけ方【演習あり】 「ものと情報の流れ図」を作成し、全体を俯瞰できるよう可視化することにより、問題点や課題、ボトルネック工程を見つけ出す方法や、その他ボトルネック工程を見つけるポイントを解説し、見つけた課題(ボトルネック)を解決してゆく方法を学習する。 (2) 作業分解分析とムダ【演習あり】 作業分解分析を行うことにより、自職場のムダの見つけ方、改善ポイントの見つけ方を認識していただき、業務改善に結びつける手法を学習、習得いただく。	3.0
	演習	* 受講生の状況により下記の演習から3つ選択して実施する。 ① 真因を掴むための「なぜなぜ分析」の実践演習。 ② 改善に終わりはなく、PDCAを継続的に回してゆくことが重要であり、プロセスの要点を演習にて理解する。 ③ ボトルネック工程の見つけ方を習得し、自社工場(工程)のボトルネック探しを実践してみる。 ④ 作業分解分析の手法によるムダの洗い出しを演習にて理解して職場に持ち帰る。	
合計時間			6.0

カリキュラム作成のポイント
業務改善の第一歩は、問題点・課題を見つけることであり、問題を見つけたらどのように真の原因を掴み、その対策を検討し、周囲を巻き込んで実行してゆくことが求められる。そのための実践的な研修内容としており、演習に重きを置いて、体感してもらうことを主体とした研修カリキュラムとしています。

備考
OS: Windows11 アプリケーション: Microsoft Office 2021